



2019年9月13日

各 位

会社名 クロスプラス株式会社
 代表者 代表取締役社長 山本 大寛
 (コード番号 3320 東証・名証第二部)
 問合せ先 常務取締役 西垣 正孝
 (TEL 052-532-2211)

第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月15日に公表した2020年1月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2019年3月15日に公表いたしました2020年1月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年1月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異(2019年2月1日～2019年7月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	29,300	△200	△150	△150	△20.49円
実績値(B)	27,748	24	125	121	16.63円
増減額(B-A)	△1,551	224	275	271	—
増減率(%)	△5.3	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年1月期第2四半期)	28,853	△312	△203	△226	△30.98円

2. 2020年1月期通期業績予想の修正(2019年2月1日～2020年1月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	64,000	300	400	350	47.81円
今回修正予想(B)	62,000	300	400	350	47.81円
増減額(B-A)	△2,000	—	—	—	—
増減率(%)	△3.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年1月期)	62,901	25	238	323	44.22円

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は、6月以降の低温等、天候不順による影響により計画を下回りました。利益面ではアパレル卸売において、採算性の見直しや主力工場への生産集約、アセアン工場へのシフトによる原価低減に努めました。また、アパレル事業の業態転換を進め、EC等の消費者への直接販売が拡大したことで、売上高総利益率が前期から2.3ポイント改善しました。経費ではEC関連のシステム投資や販売促進費用の増加により、売上高販管費率が前期から1.2ポイント上昇しました。以上の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、計画を上回りました。

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの状況及び晩夏初秋の店頭状況の厳しさや消費税増税等の要因により売上高を当初の業績予想から修正しました。なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、修正しておりません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上